

地域整備方針

(札幌市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
札幌駅・大通駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>札幌市の都心において、既存の都市基盤と世界有数な多雪寒冷の大都市という地域特性を活かし、人と環境を中心に据えた都心づくりを推進</p> <p>このため、札幌駅前通や創成川通の整備効果を活かし、都心の骨格軸や交流拠点を基軸とする、歩いて暮らせる豊かで快適な都心の創造に向けた多様な高次な機能が複合した市街地を形成</p> <p>併せて、低炭素社会の実現を図るため、雪の冷熱エネルギーの活用等による、環境負荷の低い新たなエネルギー有効利用都市の実現を先導</p>	<p>○札幌駅周辺において、広域的交通結節点としての機能を強化するとともに、情報、サービス、交流機能等を充実・強化</p> <p>このうち、北口周辺では業務、居住機能等の複合市街地を形成</p> <p>○札幌駅前通沿道において、引き続き業務、商業、交流機能等を充実・強化</p> <p>○大通と創成川通が交差する交流拠点において、創造的活動に資する文化芸術等の機能や、商業、交流機能等を充実・強化</p> <p>○創成川通沿道において、商業、居住、宿泊機能等を充実・強化するとともに、多様な都市機能を創成川以東地区に波及させる交流機能を導入</p> <p>○大通以南の地区において、防災・安全面で課題を抱える老朽建築物の更新を促進することで、商業、交流機能を充実・強化するとともに、業務、居住機能等との複合市街地を形成</p>	<p>○道路等と敷地内通路等の連携や広場空間の整備・活用により、災害時の避難路としても活用可能な地上・地下の重層的な歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>この際、多面的な活用が可能な敷地内空地等を確保</p> <p>さらに、中長期的には、人と環境を重視し、歩行者主体の交通体系について検討</p> <p>○札幌駅周辺において、北海道新幹線の札幌駅乗入や路面電車の札幌駅方面への延伸を見据え、交通結節機能を再配置</p>	<p>○地下通路との接続により一体的な地下空間を形成するとともに、建築物の低層部及び地下部に、にぎわいを演出する商業、サービス機能等を導入する都市開発事業を促進</p> <p>○大通以南の地区等において、居住機能を導入する際、建築物の低層部に、にぎわいを演出する商業、サービス機能等を導入する都市開発事業を促進</p> <p>○敷地内空地の緑化等、緑豊かなまちづくりに寄与する都市開発事業を促進</p> <p>○自立・分散型エネルギー供給拠点の整備、冷熱・温熱等の供給ネットワークの活用、外気を活用した冷房等の省エネルギー対策等、防災性の向上や環境負荷の低減に寄与する都市開発事業を促進</p> <p>○まちづくり会社などによる、地域の価値向上を目指すエリアマネジメントの取組を推進するとともに、官民協働の都市開発事業を促進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>優れたまちづくりを通じて世界都市となることを目指す札幌市の都心において、都市機能の集積・高度化、都市空間・エネルギー等のネットワーク形成、エリアマネジメントの展開を推進し、災害にも強く、国際的な活動の拠点にふさわしい市街地を形成</p> <p>併せて、これらの優れたまちづくりの展開をパッケージとして国内外に情報発信</p>	<p>○札幌駅周辺において、世界都市さっぽろの玄関口にふさわしい都市空間・都市景観を形成するとともに、交通結節機能を強化</p> <p>○札幌の目抜き通りである札幌駅前通沿道において、高い環境・防災性能を有する国際水準の業務機能を導入</p> <p>○大通と創成川通が交差する交流拠点において、国際水準の文化芸術等の創造的活動に対応可能な集客交流機能を導入</p> <p>○大通以南の地区において、路面電車の延伸や地下通路及び地上部道路の整備検討と一体となった都市開発事業により、商業、業務、交流機能を充実・強化</p>	<p>○国内外の優れた現代舞台芸術等の公演に対応可能な国際水準のホールを有し、文化芸術振興の拠点、集客交流拠点となる市民交流複合施設を整備</p> <p>○駅前通地下歩行空間や創成川公園などの整備効果を活かし、北3条広場や札幌駅前通と大通が交差する交流拠点における地下広場等、国内外の人々の交流を促進する広場空間を整備</p> <p>○大通以南の地区において、路面電車の延伸や、都市開発事業と一体となった地下通路及び地上部道路の整備検討を推進</p> <p>○環境にやさしく、災害にも強いまちづくりの実現に寄与するコージェネレーションなどの自立・分散型エネルギー供給拠点の整</p>	<p>○都心の回遊性を高め、都市の魅力向上やにぎわいの創出、防災性・安全性の向上に寄与する公共的空間等を整備する都市開発事業を促進</p> <p>併せて、オープンスペースのネットワーク化や、公共的空間を活用する取組を促進</p> <p>○都市開発事業単位、地区単位、都心全体等、各レベルに応じた重層的なエリアマネジメント体制を強化するとともに、まちづくり会社等の都市再生整備推進法人化を促進</p>

			備、駅前通地下歩行空間に併設した熱導管 収容施設の更なる活用、スマートエネルギ ーネットワーク化の検討など、低炭素社 会・エネルギー有効利用都市のモデルとな るエネルギーネットワークを形成	
--	--	--	--	--

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>東京都心・臨海地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 日本の経済を牽引する高次の中核業務機能のほか、商業、居住、文化、交流など多様な都市機能の集積と、主要幹線道路等の整備による都市基盤の強化を通じて、国際的なビジネス機能等を備えた拠点としてふさわしい景観にも配慮した賑わいと魅力のある都市空間を形成</p> <p>(大手町、丸の内、有楽町) 東京都心において、我が国の顔として、歴史と文化を活かしたうおいと風格ある街並みを形成しつつ、高次の業務機能とそれを支える高度な支援機能を備えた金融をはじめとする国際的な中核業務・交流拠点を形成 この際、併せて、商業・文化・交流などの多様な機能を導入することにより、にぎわいと回遊性のある都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国際金融をはじめとする中核業務拠点にふさわしい高次の業務機能とこれを支える商業・文化機能等多様な機能の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・高次の業務機能と、高度な専門性を有する業務支援機能の強化 ・業務機能を支え、アメニティを高める商業・文化・交流・宿泊機能等を強化 ・業務機能を支える人材育成・就業者支援・情報通信拠点機能を強化 ○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導 ○成田・羽田空港と直結する交通拠点機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上 <ul style="list-style-type: none"> ・丸の内側については、駅前広場の整備や行幸通りの景観整備により、我が国の顔となる空間を形成 ・丸の内通りの機能を延伸し、にぎわいの創出と回遊性を確保 ・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化 ・八重洲側については、駅前広場を再整備 ○大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋川の再生を検討 この際、あわせて首都高速道路のあり方を検討 ○その他、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保 ・大手町、丸の内、有楽町地域の駐車場について、公共と民間、民間相互の連携などにより、効率的なネットワーク化を地域において検討 ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実 ・エネルギーネットワークを始め、供給処理施設の機能更新及び強化により、発災時にも自立した機能を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○丸の内の仲通りに面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、風格ある街並みの形成に資する都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○東京駅などの未利用の容積を活用しつつ、用途の配置や容積の配分を適正に行うことにより、メリハリのある高度利用を実現 ○日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導 ○地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進 ○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

(日本橋、八重洲、銀座)

東京都心において、老朽建築物の機能更新や土地の集約化等により、歴史と文化を生かしたうまいと風格ある街並みを形成しつつ、国際的な業務・金融・商業機能や高度な業務支援機能・生活支援機能等が適切に調和した魅力ある複合機能集積地を形成
特に、中央通りを中心とした地域においては、魅力とにぎわいにあふれた国際的な商業・観光拠点を形成

(日比谷)

東京都心において、文化・交流機能の集積や

○業務・金融・商業機能等を高度化と、これらを支える多様な機能の導入と居住機能の回復
・建築物の低層階に商業・文化・交流機能等の導入により商業機能を強化
・高度な専門性を有する業務支援機能の強化
・業務・商業機能との調和に配慮した居住機能の回復を促進

○国際化に対応した、教育・医療・情報提供機能を誘導

○震災等に対応できる都市防災機能の強化

○文化・芸術機能や迎賓・交流機能の歴史と集

○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上
・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化

○東京駅前地域の再開発と連携したバスターミナルの整備や都営浅草線東京駅接着の検討などによる空港アクセスの強化

○大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋川の再生を検討
この際、あわせて首都高速道路のあり方を検討

○その他、以下を実施

- ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保
- ・銀座地域において、駐車場や荷さばき場の集約的な整備を地域において検討
- ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実

○日比谷地域において、回遊性の向上を図る

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○八重洲の外堀通り等に面した地域においては、交通基盤の強化の連携などにより、東京の玄関口に相応しい都市開発事業を促進

○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進

○銀座の中央通り等に面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、歩行者空間の充実と、魅力ある商業空間の形成を図る都市開発事業を促進

○歴史的建造物の機能更新等にあたっては、これを生かした都市開発事業を促進

○日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

○隣接する日比谷公園や周辺エリアとの回遊

隣接する日比谷公園の環境を活かし、多様な機能が複合した風格とにぎわいのある都心拠点形成
併せて、周辺エリアとつながる緑豊かな回遊拠点を形成

(環状2号線新橋周辺・赤坂・六本木)
中央官庁街に近接し、大使館等が数多く立地する地域において、環状2号線の整備とその沿道土地利用の促進を図るとともに、国際金融・業務・商業・文化・交流機能や生活・業務支援機能など多様な機能を備えたにぎわいにあふれた国際性豊かな交流ゾーンを形成
この際、緑豊かな地域特性を生かしたうらおいのある都市空間を形成
また、浜松町駅より海側の地域においては、地域の資源である浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園や海を意識しながら景観や環境にも配慮しつつ、内外の企業が魅力を感じられる国際競争力の高いビジネス拠点を形成

積を活かした、文化・交流機能の強化

- まちなにぎわいを創出する、飲食・物販機能やイベント機能等の導入
- 中枢業務機能、国際金融機能、国際カンファレンス機能、情報通信拠点機能、高次なインフラ機能などの更新・強化
- 隣接する日比谷公園を活かした緑やうらおいの充実
- 震災等に対応できる都市防災機能の強化

- 良好な住環境を備えた居住機能のほか、国際金融をはじめとする業務・商業・文化・交流・宿泊等の多様な機能の誘導及び高度な専門性を有する業務支援機能の強化
- 国際化に対応した、教育・医療・情報提供機能を誘導
- 新橋駅周辺の交通結節機能の強化
- 国際化に対応した浜松町駅周辺の交通結節機能の強化及びバリアフリーネットワークの強化
- 震災等に対応できる都市防災機能の強化

歩行者ネットワークの強化や地域の顔となる魅力的な公園、JRや地下鉄の駅と隣接した広場空間の整備を検討

- 環状2号線、環状3号線等の整備による広域的な交通利便性を向上
- 国際化に対応した浜松町駅周辺開発にあわせ、東京モノレール浜松町駅の改良やバスターミナル再整備などによる交通結節機能の強化及び歩行者ネットワークの強化
- 環状2号線周辺においては、道路と沿道が一体となって風の道となる空間を確保し、快適で魅力的な街並みを形成
- 道路や敷地内通路等の連携による地上・地下の重層的な歩行者ネットワークを充実・強化
- その他、以下を実施

性の向上、緑豊かな広場等の整備、多様な機能の導入等による魅力ある都市空間の形成に資する都市開発事業を促進

- 国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進
- 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導
- 都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導
- 都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導
- 都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導
- 隣接する日比谷公園と連携した地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進
- 地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進
- 環状3号線と補助4号線にはさまれた区域(補助2号線の西側)及び赤坂地区・六本木地区における良好な住環境を備えた区域においては、周辺市街地との環境に十分調和するよう配慮した都市開発事業を促進
- 国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進
- 環状2号線周辺の土地利用の更新にあわせ、細分化した街区の再編による大街区化を誘導し、緑豊かなオープンスペースや機能的な道路空間を創出
- 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑

(晴海、豊洲、有明北、有明南、台場、青海、東雲)

都心に近接し、陸・海・空の卓越した交通条件にある東京臨海部において、物流機能の転出等に伴い発生した低未利用地の大規模な土地利用転換等により、職・住・学・遊の多様な魅力を備え国際的に情報発信を行う先導的な拠点を形成
この際、水辺の環境をいかしてアミューズメント・文化・商業などの機能を導入し、都市観光にも資するバランスのとれた魅力的な複合市街地を形成

○職・住・学・遊の多様な機能の複合市街地の形成

○この際、新しい産業の育成など先導的な機能を導入

- ・大学や研究所などと連携した次世代型の産業・業務・情報機能等の導入
- ・港湾機能や優れた空港アクセス機能を活かした首都圏の物流・交通拠点機能の強化
- ・魅力とにぎわいを創出するアミューズメント、文化、商業、交流機能の導入
- ・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の導入

- ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化
- ・まとまった公共的空地の確保・緑化や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実

○東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備

- (幹線道路)
- ・環状2号線の整備
- ・首都高速道路晴海線の整備
- ・国道357号(東京港トンネル)の整備等(公共交通機関)
- ・水上交通ネットワークの形成の検討

○さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備につ

化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○六本木地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進
また、学校、国際交流施設等の地区独自の文化性、国際性に富んだ資源を活用

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

○浜松町駅周辺においては、竹芝地区をはじめ、エリアマネジメントとの連携も図りつつ、防災性の向上やエネルギー対策を推進

○また、浜松町駅から竹芝ふ頭に至る歩行者動線の強化や緑の創出・ネットワークの充実を図り、地区内の回遊性の向上や小笠原及び伊豆七島への玄関口としてふさわしい景観を形成

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○計画的なまちづくりに配慮しつつ、暫定的な土地利用への柔軟な対応の促進

○地域の市街地像を共有化し、一体的かつ総合的に都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○豊洲埠頭地区において、まちづくりと一体となったエネルギーの面的利用の推進や再生エネルギー・未利用エネルギーの活用な

	<p>(佃、月島、勝どき、豊海、湊、入船、新富、明石町、築地) 個性を生かしたまちづくりと計画的な大規模開発による機能更新により、都心を支える居住機能を強化した魅力的な複合市街地を形成</p>	<p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p> <p>○国際的に情報発信を行う先導的な拠点として、MICE機能の更なる強化により、ビジネスや観光等の都市機能を充実</p> <p>○良好な居住機能を強化しつつ、あわせて、業務・商業・文化・交流機能の導入による複合市街地を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の強化 ・魅力とにぎわいを創出する業務・商業・文化・交流機能等の導入による複合的な都市機能を強化 <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>いて検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄8号線の延伸を検討 <p>○豊洲新市場の整備</p> <p>○防災機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭堤防、水門の耐震化など、当該地域における防災施設の整備促進 <p>○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備</p> <p>○その他、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成 ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 <p>○東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備</p> <p>(幹線道路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環状2号線の整備(公共交通機関) ・水上交通ネットワークの形成の検討 <p>○さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討</p> <p>○防災機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外郭堤防、水門の耐震化、隅田川のスーパー堤防の整備など、当該地域における防災施設の整備促進 <p>○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備</p>	<p>ど、最先端技術の導入による低炭素社会を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○MICE機能の拡充による国際的なビジネス交流拠点の形成や、アフターコンベンション機能の更なる拡充に資する都市開発事業を促進</p> <p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p> <p>○密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和などに十分配慮する都市開発事業を促進</p> <p>○月島地区などにおいては、良好な街並みの形成、防災性の向上、住・商・工が調和した魅力ある市街地の形成に資する都市開発事業を促進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○豊洲に新市場を整備した後の築地地区を中心とした将来のまちづくりを検討</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や</p>
--	--	--	--	--

			<p>○その他、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成 ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 	<p>一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>日本経済の中心地である都心から臨海部の一体的な地域において、本社機能の高度な集積や国内外へのアクセス機能、国際色豊かな地域特性を生かし、国際競争力向上に資する先進的なビジネス支援機能の導入促進、外国人が住みやすい居住環境の充実などを一体的に推進</p>			

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
秋葉原・神田地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>秋葉原駅周辺において、大規模低未利用地の土地利用転換等により、電気街と連携した世界的なIT関連産業拠点を形成</p> <p>神田地域において、建築物の更新に併せた市街地の再編整備により、東京駅周辺等の都市機能とも連携する多様な魅力を持ったにぎわいのある安全で快適な複合市街地を形成</p>	<p>○秋葉原地域においては、IT関連産業など新しい産業機能の導入及びこれと連携する商業・業務・交流機能を強化</p> <p>○神田地域においては、教育・文化・交流機能を充実するとともに、居住機能を強化</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>○駅周辺の回遊性を高めるため歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>○その他、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与</p>	<p>○神田地域においては、歴史・文化を伝える街並み形成や、学生街等のにぎわい・回遊性の向上に資する都市開発事業を促進</p> <p>○神田川・日本橋川沿川においては、水辺の環境を生かすよう配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p>

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
品川駅・田町駅周辺地域	<p>[都市再生緊急整備地域]</p> <p>○品川駅を中心とした鉄道施設の機能更新や駅前広場・歩行者空間などの都市基盤整備により、広域交通の拠点性を強化し、東京と国内外を結ぶサウスゲートにふさわしい交通結節点を形成</p> <p>○品川駅周辺では、新幹線や羽田空港などへのアクセスの利便性、臨海部、東京南部の産業とも連携可能な立地特性や、運河などの地域資源を生かし、業務、商業、研究、交流、宿泊、居住などの多様な機能が集積する、新拠点を形成</p> <p>○東京湾からの「風の道」の確保や、大規模公園、緑地、運河などを活用した水と緑のネットワークの形成、下水再生水や下水熱の有効利用などにより、環境負荷を軽減する先進的な環境モデル都市を形成</p> <p>○田町駅周辺の大規模な低・未利用地における業務、商業、居住、教育、文化等、多様な都市機能の整備や、既存市街地の街区再編、機能更新など、計画的な土地利用転換により、安全かつ快適な駅施設をはじめとした公共空間などの整備により、魅力的な複合市街地を形成</p> <p>[特定都市再生緊急整備地域]</p> <p>羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備を契機に、広域交通の拠点性を強化し、東京と国内外を結ぶサウスゲートにふさわしい交通結節点を形成し、業務、商業、研究、交流、宿泊、居住、教育、文化などの多様な機能が集積する、魅力ある新拠点を形成</p>	<p>(品川)</p> <p>○広域交通における利便性の高さを活かし、国際的なビジネス機能の導入を推進</p> <p>○業務機能を支え、国際化に対応したカンファレンス・文化・交流・賑わい・宿泊機能等の誘導</p> <p>○運河、自然、文化等の地域資源を活かした居住環境の誘導</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p> <p>(田町)</p> <p>○業務、商業、住居、教育、産業支援、文化、交流などの多様な機能を誘導</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>(品川)</p> <p>○鉄道で分断された地域の一体化を目指し、緊急輸送道路等に繋がる東西連絡性の強化・改善</p> <p>・環状4号線、東西連絡道路、第二東西連絡道路等の整備</p> <p>・京浜急行線品川第一踏切の解消</p> <p>○羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備を契機に、乗換えの利便性向上を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮し、安全で快適な駅空間を形成</p> <p>・駅施設や駅前広場、歩行者デッキ等の大規模改良</p> <p>○既存の歩行者デッキや地形の高低差等に配慮した歩行者ネットワークの形成を促進</p> <p>○都市開発事業とあわせて国道15号等を整備するとともに安全で快適に回遊できる広場やデッキを整備</p> <p>(田町)</p> <p>○国内外からの来街者が安全で快適に利用できる交通結節点として、東西自由通路及び駅前広場を整備</p> <p>○東西自由通路から連続する歩行者デッキ、緑豊かな歩行者空間の整備等による、歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>○芝浦公園の拡張・再整備</p>	<p>○都市開発事業において、建築物等の高さの制限や配置等の工夫などによる風の道の確保を誘導</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○運河、自然、歴史等の特徴を活かした、地域の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を誘導</p> <p>○田町駅前及び駅周辺の防災機能の確保を誘導</p> <p>○札の辻交差点西側の既存斜面緑地の保全、再生により、地域特性を生かした潤いある街並みの誘導</p> <p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p>

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
新宿駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>東京駅周辺などとともに我が国の国際的な中枢業務機能を担う拠点を形成併せて、商業、文化等の集積による多様な魅力を備え回遊性のある観光・交流拠点を形成</p> <p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>乗降客数が日本一のターミナルを有し、新宿副都心として発展してきた業務・商業機能を生かし、住宅、商業、文化、教育、宿泊、医療等の集積による多様な魅力を備えた、国際的な中枢業務・交流機能を担う拠点を形成</p>	<p>○新宿駅の駅前広場周辺においては、商業・業務機能を充実・強化</p> <p>○新宿駅周辺における歩行者交通機能の改善・強化</p> <p>○放射6号線、国道20号などの幹線道路の整備に併せた業務・商業・文化・交流・居住機能等の複合市街地形成</p> <p>○西新宿の業務地域に近接する密集市街地においては、防災機能の向上と居住機能をはじめとする複合市街地を形成</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>○幹線道路等の整備により広域的な交通利便性を向上 (幹線道路) 放射6号線、環状5の1号線、国道20号(新宿跨線橋の架け替え)等の整備</p> <p>○駅周辺の回遊性を高めるため、駅東西を結ぶ自由通路の整備など立体的な歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>○駅東側の地下通路等における災害時の安全な空間の確保を誘導</p> <p>○その他、以下を実施 ・駅前広場など道路下の駐車場整備を地域において検討 ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化 ・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・駐車場や荷さばき場の集約的な整備を検討</p>	<p>○密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和などに十分配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○新宿駅の駅前広場周辺においては、地域の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○歌舞伎町地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p>

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
環状四号線新宿富久沿道地域	<p>[都市再生緊急整備地域]</p> <p>環状4号線の整備による都心部の交通機能の向上と沿道土地利用を促進 その際、併せて、土地の集約化等により土地の有効利用と市街地の安全性を向上</p>	<p>○環状4号線の整備による交通機能の充実と防災機能の強化</p> <p>○居住機能をはじめとする複合市街地の形成</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>○環状4号線の整備により広域的な交通利便性を向上</p> <p>○その他、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与</p> <p>○こども園等により子育て環境を整備</p>	<p>○従前居住者の居住の確保や周辺市街地との都市環境の調和などに十分配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p>

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
大崎駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>りんかい線、埼京線、湘南新宿ラインの大崎駅乗入れや新幹線品川駅の開業、さらには羽田空港の国際化などにより飛躍的に向上した交通アクセスを活かし、大規模低未利用地の土地利用転換や既成市街地の再構築により、東京のものづくり産業をリードする新産業・業務拠点を形成</p> <p>この際、魅力とにぎわいのある都市空間を形成</p>	<p>○研究開発型産業を核とする業務・商業・文化・交流・居住などの複合機能を導入</p> <p>○交通利便性を活かし、地域内の連携強化を図るための交通拠点機能を強化</p> <p>○少子高齢化社会への対応を図るため、福祉サービスの的確な提供、子どもを生き育てる環境の整備を促進</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>○大崎駅周辺における交通結節機能や回遊性を高めるため、駅前広場機能や歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>○その他、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化 ・まとまった公共的空地の確保・緑化、風の道の確保、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・高齢者福祉施設や子育て支援施設の整備を都市開発事業にあわせて促進 	<p>○目黒川沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進</p> <p>○目黒川及び沿川に整備された親水空間の利活用を促進</p> <p>○密集市街地の整備においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地との都市環境の調和などに十分配慮した都市開発事業を促進</p> <p>○地域の市街地像を共有化し、一体的かつ総合的に都市開発事業を促進するための体制等を検討</p> <p>○地域全体の魅力を高め、持続的発展を図るため、地域主体のエリアマネジメントを展開</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市防災機能の強化を図るため、既存施設において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムへの転換を検討するとともに、今後の都市開発事業において導入を誘導</p> <p>また、備蓄倉庫や一時滞留可能な空間の更なる充実に加え、既存施設等の効率的な活用を図ることで、帰宅困難者対策を支援</p>

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>渋谷駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 特徴ある地形のもとで形成された商業・業務・文化・交流機能の集積を生かし、周辺のみどり豊かな環境と調和をとりつつ、多世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成 駅施設の機能更新と再編を進めるとともに、それを契機に周辺地域での街区再編および開発の連鎖による総合的なまちづくりを推進し、駅から周辺の個性的な街へ連続する、にぎわいと回遊性のある、災害に強く、安全・安心で歩いて楽しい都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文化・情報発信力をさらに高め、渋谷の活力を強化させるため、様々な世代のニーズに対応し、国際的にも通用する先端的で魅力ある都市機能として、世界に開かれた文化・交流・発信機能や、クリエイティブコンテンツ産業等の先進的な業務機能、産業育成機能、賑わいを強化する商業機能等を積極的に充実・強化 ○地域の活力を継承・発展させ国際競争力の向上に寄与するため、最先端の文化や情報をリアルタイムに世界へ発信する生活文化等の情報発信機能の強化 ○ユニバーサルデザインに配慮しつつ、乗換え利便性、羽田空港との結節性の向上、ゆとりある駅前広場や歩行者空間の拡充などにより、交通結節機能を強化 ○老朽建築物の更新に合わせた街区再編や災害時対策の推進による防災機能の強化 ○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化 ○地域の活力を継承・発展させる世界に開かれた生活文化の情報発信機能の強化 ○多様で持続的な地域活動及び地域コミュニティの形成を支える居住機能と生活支援機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅中心地区の自動車交通の錯綜を改善し安全な歩行者空間を確保するため、ハチ公広場を含めた東西駅前広場を再編・拡充し、駐車・駐輪施設や、駐車場ネットワーク、周辺の街路を整備するとともに、周辺地域と連携した効果的な交通処理を実現する施策等を導入 ○東京メトロ副都心線と東急東横線との相互直通化及び地下化 ○乗換え利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な駅空間を形成するため、銀座線等を含む駅施設の大規模改良を検討 ○地形の高低差の解消やまちの分断の改善など、地形的特性に対応した立体的な歩行者ネットワークの形成を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市開発事業とあわせて駅前広場や国道246号等を活用し、駅と周辺地域をつなぐ地下広場、地下通路、デッキの整備 ・駅東西及び周辺地域を結ぶ自由通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 ○公共的空地や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施により、景観づくりやヒートアイランド現象の緩和に寄与 ○地域に点在する歴史・文化資源を活かし、来街者が楽しむことができ、地域の人々と交流することができる賑わいのある公園・広場等の整備 ○駅及び駅周辺地区の基盤整備にあわせ、都市型集中豪雨対策として、雨水貯留槽整備などによる浸水・冠水対策を強化 ○都市開発事業に関連した道路整備により、地域内の道路網を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅中心地区において公共施設と建築物との一体的な整備等により、限られた空間に多様な機能の集積を図る都市開発事業を促進 ○駅中心地区においては、渋谷らしさを活かしながら新しい渋谷の顔となる拠点を形成するため、街の玄関口にふさわしい駅前の景観と、沿道ごとの特色を生かした個性的な街並みの形成を促進 ○建築敷地内の空地の活用や鉄道上空等の活用により、地域内の回遊性を高める歩行者ネットワークの形成を促進 ○道路や公園などのみどりの厚みを生み出し、また渋谷川などの水辺を生かした良質な空間を創出する都市開発事業を誘導し、周辺とも連動した水とみどりのネットワークを形成 ○都市開発事業間での連携のもと、災害時の避難場所で地域の防災活動を支援する広場空間や建築敷地内の溜まり空間などを創出し、災害に強いまちづくりを推進 ○周辺地域において、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化、屋上緑化、壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○駅中心地区において、街区間で連携したエネルギー管理の合理化や、面的なエネルギーネットワークの形成等により、総合的なエネルギー効率の向上を図る都市開発事業を誘導し、環境負荷低減に向けた取組みを促進 ○公民連携によるエリアマネジメントの取組みや、まちの持続的・広域的な成長を発信する取組みの検討

				<ul style="list-style-type: none"> ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 渋谷駅の機能更新と周辺都市基盤の再編を契機に、魅力ある商業、業務、文化・交流機能の充実を図るとともに、次世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成</p>			

地域整備方針

(横浜市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>横浜都心・臨海地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>横浜駅周辺地区、横浜みなとみらい地区、北仲通地区において、各地区の個性的で魅力ある地域資源を生かし、一体的に都市機能の強化を図り、魅力と賑わいのある都市空間を形成</p> <p>(横浜駅周辺地区)</p> <p>首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区において、老朽化した建築物の建替えや都市の基盤整備等の更新など既成市街地の再構築により、都心の一体化や交通結節機能の強化を行いつつ、国際的、広域的な業務・商業・サービス・文化交流機能等多様な機能の集積を通じ、国際都市横浜の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある都市空間を形成併せて、災害に強い安全な都市空間や先端的な環境都市を形成</p> <p>(横浜みなとみらい地区)</p> <p>横浜駅周辺地区と関内・関外地区の間に位置する立地から、二分されている横浜都心部の一体化に向け、みなと横浜の特性を生かしつつ、業務機能を中心に、商業、文化、居住機能等の導入による多機能な国際交流拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏における重要な広域拠点として、商業、サービス、文化、業務など都市機能の充実 ○駅に近接する地区においては、国際都市横浜の玄関口にふさわしい賑わい機能、観光拠点機能、滞在・宿泊機能、情報発信機能、文化創造・交流機能、業務機能、ビジネスサポート機能、商業・生活支援機能などの充実・強化 ○災害時の一時滞留者や帰宅困難者等のスペース確保、治水安全度向上など防災対策関連の機能の強化 ○鉄道やバス等の乗換利便性の向上、駅を中心とした立体的な歩行者ネットワークの形成、駐車場マネジメント等による自動車交通の円滑化など交通結節機能の強化 ○魅力ある都市活動の場とするための業務・商業機能やゆとりある都市生活を実現するための芸術等の文化・スポーツレクリエーション機能、職住近接を実現するための居住機能等を導入 ○国際交流拠点として国際色あふれる魅力的なまちづくりを進めるため、MICE機能のさらなる強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○東西の駅前広場再編など、駅とまちとの玄関口となる交通結節空間の整備 ○歩行者の利便性向上を図るため、交通結節空間を地下、地上、デッキレベルで接続する歩行者ネットワークを整備 ○駅東西の連絡強化を図る連絡通路の整備 ○西口地下街と中央自由通路の円滑な接続 ○橋梁架け替えや河口部の河川改修など、帷子川・新田間川・幸川等における治水安全度向上を図る施設整備と、周辺市街地整備に併せた親水空間の整備 ○自動車交通の円滑化に資する地下駐車場連絡路の整備 ○横浜都心の一体化を図るため、横浜みなとみらい地区や関内方面と連絡する栄本町線支線1号線の整備 ○東横線跡地の整備 ○歩行者の回遊性を高めるベデストリアンデッキや横浜都心部をつなぐ東横線跡地を活用した自転車歩行者道などによるネットワーク機能の強化 ○道路空間の緑化や、公園、街区内の歩行者空間の潤いある空間形成のため水や緑を積極的に導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅直近部において建築物と公共施設の一体的な整備や高度利用による都市開発事業の促進 ○国際都市横浜の玄関口にふさわしい駅前の景観と、沿道ごとの特色を生かした個性的な通りの形成を誘導 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などによるヒートアイランド対策や高効率な冷暖房設備・再生可能エネルギー利用などエネルギー対策を誘導 ○都市開発事業の促進 ○帷子川・新田間川・幸川沿いにおいて、水辺環境を活かした都市開発事業の促進 ○海に向かう空間的な広がりを確保するため、建築物の高さ制限を緩和しつつも、山側から海側に向けて建築物の高さを徐々に低くするなど、街並みの形成に配慮する都市開発事業を促進 ○環境技術の積極的導入やそれらを活用した環境啓発活動の推進等による先進的環境都市の形成と情報発信

<p>(北仲通地区) 横浜みなとみらい地区と関内地区の結節点である立地特性を生かし、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の増進に向け、業務機能、魅力的な文化、商業等の機能や居住機能の導入による多機能な国際交流拠点を形成</p>	<p>○都市機能を支える先進的な環境・防災機能の高いまちづくりの推進</p>	<p>○敷地の整序と道路整備等による、市街地の防災機能の強化</p> <p>○文化、商業、業務機能、高規格な居住機能等の導入による複合市街地の形成併せて、職住近接を実現することにより、地震等の災害発生時の出勤、帰宅困難等のリスクを最小化し、地震等の災害発生時の事業継続性を確保</p>	<p>○水際線プロムナードや人工地盤等の整備による快適な歩行者ネットワークの形成</p> <p>○歩行者ネットワークと連携した広場、緑地等の公開性の高い空地の整備</p> <p>○地区内から幹線道路へのアクセスを強化するための道路の整備</p> <p>○各施設の相互連携による、弾力的かつ効率的な駐車場の整備</p>	<p>○地盤改良等による耐震性の高い宅地・都市基盤施設や、災害用地下給水タンク等の防災関連施設を活かし、防災性に優れた建物の立地誘導を図るとともに地区全体の防災対策を拡充</p> <p>○地元まちづくり組織を中心としたエリアマネジメントの推進による良好な環境や地区の価値の維持・向上</p> <p>○耐震性が高く、防災性に優れた建築物の誘導を図る等、地区全体で防災性を拡充・強化</p> <p>○都心部にふさわしい土地の高度利用を図るとともに、水際空間や地区内の歴史的建造物等を保全活用し、魅力的な都市景観を創出</p> <p>○地球温暖化対策に資する先導的なエネルギーマネジメントシステム等の導入</p> <p>○地元まちづくり組織を中心としたタウンマネジメントの推進により、魅力的な都市景観や地域価値の向上</p>
<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 横浜都心部の多様な都市機能を一体的に強化し、公共施設等の更なる整備により一体化を図ることで、3地区の相乗効果による更なる国際競争力の強化を図り、日本全体の成長を牽引し、新たなビジネスチャンスを生み出す「アジア拠点」を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化した羽田空港からの玄関口であり、首都圏有数のターミナル機能や大規模商業機能を有する横浜駅周辺地区 ・グローバル企業の本社機能・研究開発拠点が多数集積する国際的な業務機能、国際コンベンション参加者数日本一を誇る MICE 機能を有する横浜みなとみらい地区 ・ウォーターフロントの空間に魅力的な文化・商業機能や高規格な居住機能の導入を進める北仲通地区 				

地域整備方針

(川崎市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
川崎殿町・大師河原地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>首都高速道路横羽線等の広域交通の結節点である殿町・大師河原地域において、24時間化された羽田空港への近接性や多摩川に面した優れた地域特性を活かし、民間活力によるインフラ整備と、適切な土地利用の誘導により、ライフサイエンス・環境分野の研究開発機能の立地を促すとともに、都市機能の集積を進め、京浜臨海部の持続的発展と日本経済を牽引する国際競争拠点を形成</p>	<p>○多摩川に面する良好な環境を備えた居住機能の強化にあわせて、業務、商業機能の強化、景観形成や緑化の推進による魅力的な都市環境を形成</p> <p>○優れた立地特性を活かし、国内外の大学や研究機関と連携したライフサイエンス・環境分野の先端産業等の研究開発機能、賑わい・交流機能、物流機能、生産機能を強化</p> <p>○国際競争拠点の中核機能をサポートし、京浜臨海部を中心とするネットワークを強化する臨空関連機能、交通拠点機能、産業インキュベーション機能等の都市機能を強化</p> <p>○京浜臨海部の地域特性を活かし、災害時にも強い産業基盤を形成するため、太陽光発電や地中熱利用等自立したエネルギー源の確保・活用により、防災機能の向上、災害時のライフライン機能を強化</p> <p>○交通アクセスの向上のための交通ネットワークの強化</p>	<p>○川崎縦貫道路の整備による広域交通アクセスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路川崎縦貫線の整備 <p>○交通の円滑化・安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道409号線の整備 ・臨港道路東扇島水江町線の整備 ・京急大師線の連続立体交差による踏切渋滞の解消 <p>○都市開発事業にあわせて、防災・洪水対策として多摩川スーパー堤防を整備するほか、都市公園を整備</p> <p>○その際、歩行者・自転車ネットワークを整備</p> <p>○京急大師線小島新田駅までの歩行者ネットワークの整備によるアクセスの向上</p> <p>○京急大師線産業道路駅の周辺整備とバスアクセスの向上</p> <p>○内奥運河から多摩川に連続した緑のネットワークの形成について検討</p>	<p>○多摩川対岸の羽田空港跡地において大田区が基本計画で導入を表明している産業・文化交流機能、宿泊機能、複合業務機能とも相互補完、連携しながら都市開発事業を促進</p> <p>○多摩川沿川において、水辺環境の魅力を活かし、景観形成に配慮した都市開発事業を促進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>24時間化された羽田空港の対岸に位置する殿町3丁目地域において、多摩川に面したうらおいと緑豊かな良好な都市環境を形成しつつ、公民連携によるインフラ整備と適切な土地利用の誘導により、ライフサイエンス・環境分野の研究開発等の中核機能、国内外の人材、もの、情報の交流拠点となる都市機能の集積を進め、国際競争力の強化を先導する中核拠点を形成</p>	<p>○殿町3丁目地域において、ライフサイエンス・環境分野の国際競争拠点の中核機能となる高度な研究開発機能等の強化とこれを支える多様な機能を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学や研究機関、医療機関、企業等と連携した先端産業等の研究開発機能の強化 ・研究開発シーズの早期実現のための産業インキュベーション機能、生産機能の強化 ・国内外の高度人材・企業等の交流、情報発信のための賑わい・交流機能、物流機能、臨空関連機能、交通拠点機能の強化 <p>○京浜臨海部に集積する、太陽光や地中熱等に係る高度な環境技術の活用により、自立</p>	<p>○区画整理事業にあわせた、地域内幹線道路等の整備</p> <p>○京急大師線産業道路駅や羽田空港へのバスアクセスの強化</p> <p>○多摩川に面した部分を公共施設として、緑地や広場等を整備</p> <p>○地域内の幹線道路から多摩川へ抜ける歩道の整備</p> <p>○国道409号線に面する場所に、地域の顔となる都市公園の整備</p>	<p>○羽田空港を経由する国内外の高度人材を引きつける都市機能の強化</p>

		<p>的なエネルギー源の確保を図ることで、防災機能や災害時のライフライン機能を強化</p> <p>○主要の鉄道駅や羽田空港への交通アクセス向上のための交通ネットワークの強化</p>		
--	--	--	--	--

地域整備方針

(名古屋市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>名古屋駅周辺・伏見・栄地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 JR・名鉄・近鉄等の広域交通結節点にあり、中部国際空港に直結する名古屋駅の周辺地域から、商業・業務機能の集積する栄地区にかけての都心地域において、建築物の更新等により、名古屋の玄関口及び中心にふさわしい、国際的・広域的な商業・業務拠点を形成 この際、名駅通・広小路通・久屋大通等沿道地区においては、量感のあるにぎわい空間を創出 ささしま地区では、大規模貨物駅跡地の土地利用転換による先導的な都市拠点を形成</p>	<p>○大規模工場跡地等の土地利用転換により、都心居住や商業など複合的な機能を有する都市拠点を形成 ○道路・公園などの豊かな公共空間の活用を図ることにより、商業機能や文化・娯楽機能の集積を促進し、にぎわいや憩いとうるおいにあふれた空間を創出 ○太閤地区において、老朽化建物の更新・土地の共同化による防災機能を強化</p>	<p>○広小路通、桜通、久屋大通及び大津通沿いの建築物の更新等の際に、壁面後退により、ゆとりとにぎわいを演出するための歩道状空地を確保するとともに、地下街と建築物の接続部分において広場を確保すること等により、歩行者空間を充実 ○名古屋駅の駅前広場と連続した敷地内空地の確保により、駅前広場の機能を補完 ○まちづくりと一体となった親水空間の形成や水質浄化など、堀川の水環境整備 ○テレビ塔の再生を含む久屋大通公園の再整備 ○地区内の交通アクセスや周辺交通の円滑化等に資する都市計画道路椿町線、笹島線等の整備 ○中川運河船だまりの親水空間化等や、水質浄化による、安全でゆとりのある歩行者空間を形成</p>	<p>○広小路通に面した地域などにおいて、通りに面する建築物の低層に商業・文化・交流機能を導入すること等により、連続したにぎわいの確保に寄与する都市開発事業を促進 ○街区内で土地を集約化することにより、風格があり土地の有効利用に資する都市開発事業を促進 ○地下街の防災性を向上させるため、地下街に接する建築物について、更新時に地下街接続部分に広場を確保した都市開発事業を促進 ○大規模地震による都市型災害に備え、企業の防災力向上を高めるため、防災施設等を導入した都市開発事業を促進 ○地域冷暖房等を導入した都市開発事業を促進 ○栄周辺地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 JR・名鉄・近鉄等の広域交通結節点にあり、中部国際空港に直結する名古屋駅周辺地域と、商業・業務機能の集積する栄地区の都心部の2核を形成する地域において、リニア新幹線の整備を見据え、豊かな公共空間等を活用しながら都市のモビリティを高めるとともに、モビリティ産業に関わる企業・人材や、文化交流を支える都市機能の集積を促進することで、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい、高い国際競争力を発揮する世界的先進地区を形成</p>	<p>○リニア開業の機会を最大限に活かし、名古屋駅周辺地区における乗換え利便性向上に資するターミナル機能の強化や栄地区における文化・交流機能等の導入による、うるおいとにぎわいのある空間の形成を通じた、広域的・国際的な商業・業務機能の集積の促進</p>	<p>○リニア開業を見据え、国内外の交流促進に寄与する中部国際空港へのアクセス強化と、乗換え利便性向上に資するターミナル機能の再編及びその関連施設の整備促進 ○高次都市機能及び広域ターミナル機能を有する名古屋駅地区から、国際歓迎・交流拠点のささしま地区や国際物流拠点の名駅南地区への歩行者のアクセス改善を図り、各地区の一層の開発を誘導促進するため、新たな歩行者空間の整備を実施</p>	<p>○下水処理水の熱等を利用する地域冷暖房等を導入した都市開発事業を促進</p>

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 大阪都心地域において、鉄道の交通結節点として大阪の北の玄関口たる大阪駅、水の都・大阪のシンボルである中之島、大阪のメインストリートである御堂筋沿道を中心とし、既存の都市基盤の蓄積等を生かしつつ、風格ある国際的な中枢都市機能集積地を形成 特に、大阪駅周辺においては、既存建築物の更新等に加え、梅田貨物駅を早急に移転し、その跡地の土地利用転換により先導的な多機能拠点を、中之島においては、堂島川・土佐堀川に囲まれた地域特性を生かしつつ京阪中之島新線の整備によるアクセスの向上等と併せ、低未利用地の土地利用転換などによる業務・文化・交流中枢拠点を、御堂筋周辺においては、老朽化した建築物の更新等による業務・商業等の機能を高度化した集積地を形成</p>	<p>(大阪駅周辺) ○国際的な中枢業務機能、学術・研究機能、商業機能、情報発信機能、居住機能等の都市機能のより一層集積した複合市街地を形成 ○ＪＲ・阪急・阪神・地下鉄の交通結節点である大阪駅周辺等において、歩行者空間の充実や、駅前広場の確保等を図り、交通拠点機能を強化 (中之島) ○就業者や来訪者にとって憩いやゆとりある空間等の形成を図りつつ、中枢業務機能を充実 また、併せて、商業・宿泊機能等を導入 ○会議場、美術館等の立地による大阪の新しい国際的な文化・学術・交流機能の集積地を形成 (御堂筋周辺) ○御堂筋沿道においては、内外からの企業集積とＩＴ等を活用した新しいビジネス創出に向けた業務・商業機能の高度化 この際、防災性の向上とゆとりとうるおいある都市空間形成のため、建築物の耐震化や建築物の壁面後退部分の歩行者空間を整備。なお、風格ある市街地形成の観点から、淀屋橋から心齋橋までの間においては、風俗関連施設の立地を制限 ○御堂筋の周辺においては、御堂筋沿道と連携した業務・商業機能、文化機能、居住機能等を充実</p>	<p>○大阪駅周辺地区の交通拠点性、南北・東西方向の交通機能の強化を図るため、幹線道路を整備するとともに、大阪駅北側の駅前広場を新設 ○完成した京阪中之島新線の新駅と一体となって、地区の回遊性を高めるため、新駅と民間ビルを接続する地下通路、歩行者専用道、中央緑道等の整備による快適な歩行者空間の充実・拡充 ○さらに、地下ネットワークを検討。併せて、水上交通基盤の整備を地域において検討 ○鉄道の整備に併せた公園の再整備、歩行者専用道等の整備による緑豊かな親水空間の創出 ○風格ある街並み形成、防災性の向上を図るため、御堂筋沿道における歩道と一体となった敷地内の歩行者空間の確保 ○ギャラリー・ホールなどの文化施設の導入 ○親水性を確保するための道頓堀川の環境整備</p>	<p>○梅田貨物駅の移転については、関係者の連携により着実に進める ○大阪駅周辺においては、大阪の顔にふさわしい建築物等の意匠や形態についての配慮など、風格ある景観形成に資する都市開発事業を促進 ○水辺空間の利用や水辺景観に配慮した都市開発事業を促進 ○中之島三丁目西側街区においては河川水を活用した地域冷暖房システムの導入等、環境に配慮した都市開発事業を促進 ○京阪中之島新線の整備を契機に、中之島四丁目を文化センターゾーンに、また、中之島五丁目を国際センターゾーンにふさわしい街区となるよう、都市開発事業を促進 ○本市の経済成長戦略の重点分野であるクリエイティブ・デザイン（知的財産を活用して創造的な活動を行う産業全般）を切り口に新たな価値を生み出す御堂筋デザインストリートの形成を図り、御堂筋の活力・賑わいを創出するなど、御堂筋の多面的な利活用 ○大阪のメインストリートにふさわしい風格あるまちなみの形成を図るため、御堂筋に面した建築物については、壁面の位置などまちなみの連続感に配慮した都市開発事業を促進。特に、淀屋橋から本町までについては、御堂筋に面した外壁の位置や高さを整えるなど、まちなみに配慮した都市開発事業を促進 ○淀屋橋、本町といった業務機能の中核を担</p>

				<p>うエリアでは、拠点的な整備を促進</p> <p>○道頓堀川沿川については、水辺を活用した都市開発事業を促進</p> <p>○ミナミ及びその周辺地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により魅力ある繁華街の再生を促進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 (大阪駅周辺)</p> <p>国内外の交通の要衝として、また、都市機能の集積地として、高いポテンシャルを有し、さらには、官民連携の下、市街地の整備が積極的に推進されつつある大阪駅周辺地域において、海外からの企業・人材の受け皿として、さらなる都市拠点化を推し進め、国全体の成長を牽引する都市・大阪の中核として、より一層強力な国際競争力を有する地域を形成</p>	<p>○国内外の交通の要衝地である特性を活かし、うめきた地区、大阪駅及び大阪駅南側地区において、道路上空の建築敷地としての活用などにより海外企業の誘致に向けた環境整備につながる都市開発等を促し、国際的な中枢拠点機能等の集積をさらに促進</p> <p>○梅田貨物駅跡地で先行して開発が行われているうめきた先行開発区域では、上記機能の集積や立地特性を生かし、「感性」と「技術」が融合し新たな知的価値の創出をめざす知的創造拠点ナレッジキャピタルを形成</p> <p>○梅田貨物駅跡地で今後都市基盤整備を行う予定のうめきた2期開発区域では、「環境」をテーマに高度な都市機能と緑豊かな良好な都市空間を形成</p>	<p>○国際競争力の向上を図るため、アジアを始めとする世界のゲートウェイである関西国際空港へのアクセス性向上を目的とするJR東海道線支線地下化と新駅設置の推進、及びなにわ筋線の整備について検討</p> <p>○うめきた2期開発区域では、土地の高度利用と合わせ、緑化やオープンスペースの積極的な導入による良好な都市環境を創出</p> <p>○大阪駅周辺における回遊性を高めるため、南北連絡通路等の整備や、道路上空の建築敷地としての活用による重層的な歩行者空間の充実など、歩車分離を基本とした快適な歩行者空間を形成</p>	<p>○大阪駅周辺では、国際的な中枢拠点にふさわしく、環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営をめざし、先進的な新・省エネルギー技術等の導入、地下街等の防災性の向上、帰宅困難者対策、及びエリアマネジメントを推進</p>

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
大阪ビジネスパーク 駅周辺・天満橋駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>充実した交通インフラ、豊かな自然環境等の立地条件を活かし、環境への配慮や防災性の向上を図りながら、既に集積している高次都市機能のリノベーション（機能更新）を進め、魅力ある複合的な国際拠点を形成</p> <p>また、大阪のシンボルであり、本市の経済成長戦略上、観光戦略上重要な拠点でもある大阪城公園の魅力の向上の取り組みと併せ、にぎわい創出を図り、大阪城公園の玄関口としても魅力ある複合的な国際拠点を形成</p>	<p>(大阪ビジネスパーク駅周辺)</p> <p>○大阪城公園の活性化に向けた取り組みと連携し、地区の環境への配慮や防災性の向上を図りながら、国際的な業務・商業機能の充実・強化</p> <p>○併せて、来訪者などにとってにぎわいと魅力が感じられる空間の形成を図り、上記と一体となって複合的な国際拠点機能を形成</p> <p>(天満橋駅周辺)</p> <p>○業務・商業機能の集積を活かしながら、大阪城公園の玄関口にふさわしい観光拠点機能を強化</p> <p>○併せて、耐震性の向上など防災性の向上や、環境への配慮を図りながら、土地の高度利用を促進し、業務・商業機能や学術機能等を充実・強化</p>	<p>○ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した、連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備</p> <p>○河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備</p> <p>○ターミナル駅である天満橋駅と大阪城公園の間の回遊性・利便性を高め、地区のにぎわいを創出するため、バスターミナル改修等にあわせて、円滑な移動のための通路、広場等の歩行者空間の整備</p> <p>○親水性を向上し歩行者ネットワークを形成するための大川の河川沿いの歩行者空間を整備</p>	<p>○国際水準のオフィス環境を整備するとともに、最新の低炭素技術の導入や、太陽光や河川水、風力といった新エネルギーを活用した地域エネルギーシステムの導入など、環境に配慮したまちづくりを促進</p> <p>○地域の事業継続性の確保のための取り組みの推進による災害に強いまちづくりの促進</p> <p>○水辺空間、公開空地等の再整備や歴史・景観資源の活用による地域全体の回遊性・利便性の向上、及び観光拠点機能の充実</p> <p>○官民連携の防災体制づくりなど、地域の事業継続性の確保のための取り組みの推進による災害に強いまちづくりの促進</p>

地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
大阪コスモスクエア駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>大阪臨海部において親水性の確保など海辺の特性を生かしつつ、多様で高度な都市機能が集積する都市拠点形成</p>	<p>○国際フェリーターミナル等の交易施設とも連携した、人・もの・情報の交流拠点を形成</p> <p>○情報・先端技術開発等の業務・学術・研究開発拠点を形成</p> <p>○さらに、既存の物流機能と整合をとりながら、ホテルや会議室などのM I C E関連施設の充実・誘致を図るとともに、文化機能、レクリエーション機能、居住機能等の導入や業務支援機能を強化した複合市街地を形成</p>	<p>○ペDESTリアンデッキやチャンネル沿いの歩行者通路等の整備による歩行者ネットワークを形成</p> <p>○海辺の緑地や咲洲チャンネルの整備等による親水空間を創出</p>	<p>○海辺の緑地をはじめとして海辺の魅力を生かした景観形成に配慮した都市開発事業を促進。特に咲洲チャンネル沿いにおいては、建物の配置や動線の確保等の工夫により、これを生かすよう配慮</p> <p>○大阪ベイエリアの中心に位置する都市の拠点にふさわしいまちづくりや防災対策を推進するため関係機関と連携したエリアマネジメントの取り組みを推進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>環境やエネルギー分野の企業集積を進めるほか、デジタル技術を活用したアートなど先端産業分野におけるイノベーション拠点を形成</p> <p>下水熱などを利用した熱利用最適化に向けたまちづくりを推進</p> <p>インテックス大阪を中心としたM I C E機能や、阪神港、関西国際空港などの物流・人流機能の活用を通じた成長著しい南・東アジアとのビジネス交流・交易拠点の強化</p>	<p>○大学や研究機能などの誘致や、インテックス大阪を中心としたM I C E関連施設の充実を図り、国際的な交易・交流機能等の集積をさらに促進</p>	<p>○M I C E関連施設へのアクセス性を向上するため、コスモスクエア駅からエリア内の各施設を結ぶペDESTリアンデッキ整備による歩行者ネットワークを形成</p>	<p>○国際的な拠点にふさわしい環境の形成や防災性の向上による持続的なまちの運営をめざし、下水熱、太陽光等の未利用エネルギーの活用やエリアマネジメントの取り組みを推進</p>

地域整備方針

(福岡市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
福岡都心地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>天神地区のメインストリートである渡辺通り・明治通り沿道を中心とした天神・渡辺通地区において、都市基盤の蓄積を活かしたコンパクトで緑豊かな美しい都市景観を有する国際的・広域的な商業・業務中枢拠点を形成</p> <p>博多駅周辺地区において、博多駅の再整備に伴う交通結節機能の充実強化とあわせ、これを活かした業務・商業機能等の高度化と、周辺に点在する緑・歴史・文化資源と都市基盤の蓄積を活かしたコンパクトで緑豊かな美しい都市景観を有する国際的・広域的な業務・商業中枢拠点を形成</p> <p>外国航路乗降人数が日本一の国際ターミナル港を有するウォーターフロント（中央ふ頭、博多ふ頭）地区において、親水空間を活かし、賑わいと風格を備えた国際交流の中枢拠点を形成</p> <p>広域交通の拠点である天神・渡辺通地区、博多駅地区、ウォーターフロント地区の一体性を強化することで、アジアと九州・西日本地域をつなぐビジネス・観光のゲートウェイにふさわしい魅力ある都市空間を形成</p> <p>併せて、訪れる人が誰でも安心して楽しく歩くことができるユニバーサルで回遊性の高い都市空間や災害時でも都市機能の継続性を確保できる高度な防災力を備えた都市空間を形成</p>	<p>○九州・アジアの交流拠点都市として、建物等の建替更新にあわせて容積率緩和制度等を活用し、交流、環境等の機能強化に資する都市開発事業を促進</p> <p>○天神・渡辺通地区、博多駅地区、ウォーターフロント地区の一体性を強化するため、各拠点間を相互につなぐ道路沿道を中心に、商業・文化・交流等の多様な機能を誘導</p> <p>○地震による人的・経済的被害を防ぐため、減災効果の高い特定建築物の耐震化を促進し、公共建築物の新築にあたっては、施設の用途に応じた耐震対策の実施により、都市の防災機能を強化</p> <p>○面的な市街地整備による老朽建築物の更新を促進し、防災機能を強化</p>	<p>○広域交通の拠点である天神・渡辺通地区、博多駅地区、ウォーターフロント地区をつなぐ魅力ある道路空間づくりと分かりやすい公共交通導入によるアクセス強化</p> <p>○建替更新にあわせて、歩道状や広場状のオープンスペースや緑地の確保を推進し、ゆとりと賑わいを演出するほか、震災時に火災を防ぐ延焼遮断機能や一時的に避難・待避できる防災機能を強化</p> <p>○都市型水害による人的・経済的被害を防ぐため、浸水対策を強化</p> <p>○防災拠点となる公園等のオープンスペース、避難路となる区画道路等の公共施設の整備を推進し、防災機能を強化</p>	<p>○雨水貯留機能を有する管渠や浸透施設の導入等の雨水排水機能を強化</p> <p>○公共と民間の連携により、オープンスペースなど公共的空間を有効活用し、賑わいと活力ある都市空間を創出</p> <p>○地域の一体性を強化するため、沿道の都市開発事業を促進する、魅力ある道路空間づくり</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>天神・渡辺通、博多駅周辺、ウォーターフロント地区において、商業・業務・交通・観光などの視点から地区の特性を高め、一体不可分となって機能強化を図ることで、質の高い都市型産業の集積や交流・おもてなしの場として、国際競争力の強化に資する都市機能の中枢拠点を形成</p> <p>（天神・渡辺通地区）</p> <p>公共用地を活用した先導的な都市拠点の形成や、建築物等の建替更新による防災性を備えた高次の業務・商業の集積地を形成</p> <p>業務・居住等の支援機能が適切に調和した多様な都市機能の集積地を形成</p>	<p>○天神地区において、商業・業務・文化・交流・情報発信など、質の高い都市機能を強化</p> <p>また、人々が憩い、交流できる快適な市街地を形成するため、交通結節機能、歩行者</p>	<p>○天神地区において、交通結節機能や回遊性を高めるため、公共と民間等の連携により地上・地下歩行者ネットワークを充実・強化</p>	<p>○地下鉄七隈線の延伸（天神南～博多）</p> <p>○公共用地を活用し、高い防災性を備えた魅力ある都市機能の強化に資する都市開発事業を促進</p>

<p>(博多駅周辺地区) 博多駅ビルや交通広場の再整備による先導的な都市拠点を中心として、周辺地域において、建築物等の建替更新による防災性を備えた高次の業務・商業の集積地を形成するとともに、業務・居住等の支援機能が適切に調和した多様な都市機能の集積地を形成</p> <p>(ウォーターフロント地区) 既存施設とあわせた国際的なコンベンションや宿泊・観光拠点を形成</p>	<p>交通機能を強化</p> <p>○明治通り沿道では、中枢業務拠点にふさわしい質の高い業務機能の強化と、これを支える集客交流などの都市機能を低層部に導入し、「街の共用部」を形成</p> <p>○渡辺通地区において、業務機能強化や質の高い居住機能、災害時の支援機能を有する医療施設の導入など、多様な機能を有する快適・安心で利便性の高い複合市街地を形成</p> <p>○業務・商業・交流・情報発信など、質の高い都市機能を強化</p> <p>○人々が憩い、交流できる快適な市街地を形成するため、交通結節機能、歩行者交通機能を強化</p> <p>○駅周辺の回遊性確保や円滑な交通処理に資する交通結節機能の強化</p> <p>○既存施設とあわせて、交流・滞在等の支援機能の誘導を図るとともに、国際機関等が主催する大規模な会議や見本市にも対応できる防災性を備えたコンベンション機能の強化</p>	<p>○博多駅地区とのアクセス機能の強化</p> <p>○天神地区において、公共用地を効果的に活用しながら、更新期を迎えた公共施設の建替更新を図り、都市基盤、都市機能の強化を図り、その継続性確保を促進</p> <p>○渡辺通りの自動車交通環境の改善</p> <p>○狭隘道路や老朽化建物の密集地区において、災害時における人命救助や物資輸送などの緊急輸送を確保し、避難・防災活動の円滑化を図るため、狭隘道路の整備・改善とともに、建替にあわせた建築物の不燃化や耐震化等を促進</p> <p>○天神・渡辺通地区とのアクセス機能の強化</p> <p>○鉄道、バス等交通機関相互の円滑な動線確保等による交通結節機能の拡充と、駅前広場の機能の再編・再整備</p> <p>○多様な交通機能の集積を生かした駅周辺の回遊性向上に資する地上・地下歩行者ネットワークの充実・強化</p> <p>○公共用地を効果的に活用しながら、更新期を迎えた公共施設の建替更新を図り、都市基盤、都市機能の強化を図り、その継続性確保を促進</p> <p>○駅や公園等の公共空間において、災害時に帰宅困難者や被災者が一時的に避難・待避できる機能の強化</p> <p>○ウォーターフロント地区へのアクセス性や地区内の回遊性を向上させる歩行者ネットワーク等の充実・強化</p>	<p>○天神地下街を主軸として、交通結節機能強化を図るため、地下ネットワークの形成に資する都市開発事業を促進</p> <p>○渡辺通りの交通機能を補完する道路ネットワークの強化に資する都市開発事業を促進</p> <p>○都心部の交通幹線となる都市計画道路の整備促進とあわせ、共同建替誘導等による環境改善を図る都市開発事業を促進し、災害に強いまちづくりを推進</p> <p>○エリアマネジメント組織と連携を図りながら、ハード・ソフトが一体となり都市機能を強化するとともにその継続性確保を推進</p> <p>○地下鉄七隈線の延伸（天神南～博多）</p> <p>○公共用地を活用し、魅力ある都市機能の強化に資する都市開発事業を促進</p> <p>○博多駅再整備に伴い整備された上空デッキを主軸として、地上・地下歩行者ネットワーク形成に資する都市開発事業を促進</p> <p>○エリアマネジメント組織と連携を図りながら、ハード・ソフトが一体となり都市機能を強化するとともにその継続性確保を推進</p> <p>○交通広場やペDESTリアンデッキ等の整備に資する都市開発事業を促進</p> <p>○増加する国際旅客や大型クルーズ客船の寄港に対応した国際旅客ターミナル機能の充実・強化</p>
---	--	---	---